

convergent cloud band について

「天気」の1992年4月号に掲載された私の「収束雲帯についてのコメント」に関連して、同年10月号の「天気」に岡林俊雄氏が一文を寄せている。興味深く拝見したが、岡林氏の文は私からの再コメントを必要とするものではないし、私のいいたいことは先のコメントでつきている。ただ先のコメントでは、過去20年近く使われてきた convergent cloud band という言葉は、収束帯で発生する雲帯の略語としての収束雲帯を表現していないということを、いいかかったのだけれど、説明をしなかったので、この言葉が上記の岡林氏の文にも現われている。それでこれについてだけ述べさせていただきます。

手許にある Webster の辞書によれば、converge と

は to tend to come together at a point であり、convergent は converging or tending to converge である。だから、例えば convergent flow という言葉はよく使われる。そうすると convergent cloud band からは、どんな雲帯のパターンがイメージされるだろう。

いま問題にしている雲帯は、特定の地域、特定の季節に出現するから、地域の名をとるとか、最初に identify した人の名をとって呼ぶのが普通だと思う。コロラド州のデンバー市付近でよく発生する Denver vortex あるいは Denver cyclone に関連して、Harada vortex という言葉をみたことがある。原田渦を夜間渦とか境界層内渦とか呼んだら物議をかもしただろう。

(小倉義光)

第13回海洋工学シンポジウム — 海洋のリアルタイムモニタリング —

- | | |
|---|---|
| 1. 日時：1993年4月5日(月) 9:00~17:00 | 懇親会参加費5,000円程度 |
| 2. 場所：学士会館本館
千代田区神田錦町3-28
電話 03-3292-5931 | 参加自由 |
| 3. 主催：海洋工学コンファレンス | 6. 連絡先：〒424 清水市折戸3-20-1
東海大学海洋学部海洋工学科内
海洋工学コンファレンス事務局
千賀康弘
Phone 0543-34-0411 Ext. 3424
FAX 0543-35-4155 |
| 4. 内容：主テーマ「海洋のリアルタイムモニタリング」 | |
| 5. 参加費：一般3,000円 学生2,500円(要旨集含む) | |